●別科助産専攻の３つのポリシー

１．ディプロマ・ポリシー（修了認定方針）

聖泉大学の建学の精神と教育理念

本学の建学の精神は、「人間に対する理解を深め、広く社会と地域に貢献できる人材を育成する」ことです。この精神を具体化するために、卒業までに「自ら考え、判断し、行動する能力」と「他者を尊重・理解し、関係を構築する能力」をあわせもつ「人間力」を培い、地域に貢献できる人材を育成することを教育理念に置いています。

別科助産専攻はこれらの教育理念を受け、助産専攻課程において 32 単位以上の単位取得の修了要件を充たし、次のような能力・資質を備えた人物に修了認定します。

(1) 助産師としての使命感・倫理観を備え、多面的な視野で対象を理解できる。
(2) 助産の実践科学としての基礎的な知識と技術、判断能力を修得している。
(3) 地域特性や対象の個別性を理解した上で、関連職種と連携し、継続的な母子保健活動をするために必要な知識を修得している。
(4) 助産専門職として必要な対象者を尊重した態度、コミュニケーション能力を身につけている。
(5) 助産師の責務を果たすために主体的に学び、自己研鑽・研究していく基本的姿勢・能力がある。

２．カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

別科助産専攻では修了認定方針に掲げる目標を到達するために、倫理的感応力、エビデンスに基づいた専門的知識や技術の習得と地域母子保健活動、助産学研究の理解に重点を置いた科目を配置しています。

(1) 多様な国籍、性、年齢、社会状況にある人を理解し、さまざまなニーズや生殖・周産期医療を踏まえた助産師の関わりについて、基礎助産学領域をはじめとする各科目を通じ倫理的感応力を養います。
(2) 日々進歩する医療のなかでの助産学の専門的知識、技術を身につけるために、最新医療や地域現場の医師や助産師による「助産診断・技術学」の時間を多くしています。
(3) 変化する社会のニーズを踏まえた地域母子保健活動を理解できるよう「地域母子保健学」「地域母子保健学演習」「助産学実習Ⅲ（地域連携と母子保健活動）」の３つの科目の授業、演習、実習を通じ、助産師としての使命、地域診断や健康教育技術、地域支援や関連職種との連携などを学びます。
(4) 助産師の活動における対象者を尊重した態度、コミュニケーションのあり方について、関連各科目で考える機会を与え、実践を促します。
(5) 大学の助産課程として様々な場面において主体的に取り組むことを促し、助産学の科学的思考、探求していく能力を養うために、助産学研究を１年に渡り学びます。

３．アドミッション・ポリシー（入学者選抜の方針）

別科助産専攻は修了認定方針および教育課程編成の方針に定める人材を育成するために、次に掲げる知識や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

(1) 生命への畏敬の念をもち、女性およびその家族を尊重し、思いやりのある人
(2) 助産師を志す強い意志があり、自律した助産師を目指せる人
(3) 助産学の修得に必要な基礎学力や看護の知識をもち、自己研鑽の努力ができる人
(4) 地域の母子保健活動に興味をもち、連携・協調ができ、コミュニケーション能力を有する人